

# 2016イースト春闘！！

## 春闘勝利・組織強化拡大中央集会を開催

参加者全員で意思統一

- (申5号)賃金引上げ要求について
- (申6号)諸労働条件改善の要求について
- (申7号)夏季手当支払いの要求について

本部は3月4日、「2016春季生活闘争勝利・組織強化拡大中央集会」を本部で開催し、各地本から参加した約30名の組合員と共に、JREユニオン2年目の春季生活闘争「2016イースト春闘」と「組織強化・拡大」を意思統一した。集会では、JR連合から出席した上村総合組織政策局長から、情勢報告とJR連合春闘方針、政策・組織課題についてなどの講演をいただき、私たちの「春闘要求の根拠」を確認するとともに、その上で、産別加盟単組としてイーストユニオン組合員が一丸となった取り組みを全体で確認しあった。すでに、3月1日に申5・7号の第一回交渉を開催、同3日には申6号の交渉が行われ、集会で経過報告された。

### 「集会アピール」

国際労働機関（ILO）の理念・活動目標に「すべての人にディーセントワークを確保すること」とある。「ディーセントワーク」とは「働きがいのある人間らしい仕事」、「権利が保障され、十分な収入を生み出し、適切な社会的保護が与えられる生産的な仕事で、すべての人が収入を得るのに十分な仕事があること」と定義されている。

連合は、2016春季生活闘争において、継続して賃上げの流れをつくり出すべく、月例賃金にこだわり、すべての働く者の賃金の「底上げ・底支え」「格差是正」を目指し、加えて、サプライチェーン全体で生み出した付加価値の適正な分配に資する公正取引の実現を重視し、その効果が広く社会に浸透する、波及する取り組みを行うものとした。また、労働力人口が減少していく中で、国民生活を維持し向上をはかるには、「生産性向上」が必要であり、すべての仕事が「ディーセントワーク」で、その仕事に応じた適正な処遇を確保することが求められるとしている。

今、われわれ労働組合に求められているのは、春闘におけるベア獲得・労働条件の改善はもとより、日本における将来への希望が失われつつある社会の不安・課題解決に向けての認識を共有していくこととされる。20年近く続いたデフレからの脱却、負のスパイラルから抜け出すこと、押し迫る社会不安、経済不安の解消に向けてのために、労働組合の立場で、「働くことを軸とする安心社会」の実現を目指していくことにある。

産別の取り組みにおいては、JR連合の中期労働政策ビジョンで目指す「あるべき働き方の実現」のために、JRグループ全体・JR関係労働者の賃金・労働条件改善によって、JRブランド・産業の発展を目指していくことが、社会的責任・役割でもある。

今次春闘にあたり、JR産業の代表産別として、「働きがいのある人間らしい仕事がある社会」「適正な配分と成長をなすことのできる社会」を創造するとともに、すべての働く者・生活者の希望と安心を取り戻すため、ジェイアール・イーストユニオンは組織一丸となって、2016春季生活闘争を闘い抜くものとする。

そして、私たちに今必要なことは「組織拡大」である。組合結成にいたる理念をもう一度思い起こし、全組合員があらためてひとり一人が奮起しなければならない。私たちには、実直な行動力と、ゆるぎない精神をもって、怯まず進んできたという「勇気と自信」そして「確信」がある。その力を結集し、困難な壁を打ち破ろうではないか。そのためにも今こそ、さらに大きく踏み込んだ取り組みを実践することを全体で確認する。

本日、ジェイアール・イーストユニオンは「2016春季生活闘争勝利」「組織拡大」に向け、この闘いに勝利するため総決起するものである。共に力をあわせ闘い抜こう！



冒頭挨拶する菅野執行委員長  
右はJR連合上村総合組織政策局長